

●1989年1月25日号 No.01
●発行 (社)京都デザイン協会 KDA-NEWS委員会
●事務局 京都市東山区祇園町北側 ABL3階 〒605
TEL075(541)0239 FAX075(525)0294

KDA-NEWS



盛況だった

KDA新年会

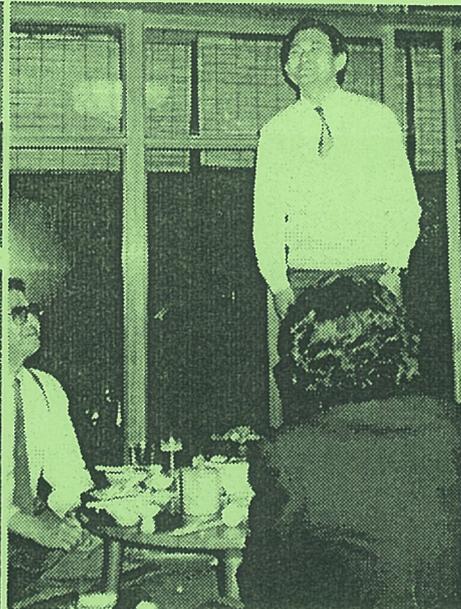
平成元年1月19日(木)午後6時より、東山区の知恩院さん向いにある東山荘で、KDAサロン委員会が主催するKDA新年会が開かれた。お客様として御馴染みの南恵美子氏(京都府商工部染織工芸課理事)、西口光博氏(京都市経済局商工部伝統産業課課長)、特別賛助会員の京都銀行、ワコール、中央信用金庫各社にも出席いただいた。今西理事長代行の挨拶に続き、南、西口各氏よりご祝辞をいただき、藤原氏(京都銀行)のご発声で乾杯後、総勢45名で和やかにすき焼き鍋をつ

つきながらの楽しいひとときを過ごした。宴席半ばで新賛助会員の平安光業(竹内氏)、渡文(久保真理氏)各社の紹介があり、出席者全員が温かい拍手で歓迎した。宴たけなわの頃ワコール山崎辰巳氏より素敵なプレゼントの呈示があった。9個の文庫本スタイルのパッケージに入った可愛いショーツで、参加者全員がジャンケンをして、勝った9名がいただくことになった。普通なら女性の参加者に譲ってもおかしくないものを、数多い男性たちが真剣にジャンケン勝負をしたのは、奥様へのおみやげを考えてか、はたまた近づくバレンタインデーを頭に入れての健闘か。

本郷副理事長が今年も会員全員の力を合わせてKDAを盛り上げて行きたいと挨拶し、お開きとなった。



KDAサロン幹事さんの席



新入賛助会員を紹介する田積常務理事と平安光業の竹内氏と渡文の久保さん



南さんと恐縮の藤田氏

第4回

KDAゴルフコンペ

結果報告

1988年12月27日、京都ゴルフ倶楽部<東コース>にて18名の熾烈な戦いが繰り広げられた。入賞者をご紹介します、「優勝」小椋輝勝(87)「準優勝」山仲(89)「3位」尾崎要

(90)「4位」園部正晴(91)「5位」田積司朗(105)「ラッキーセブン」日比昭彦(98)「10位」藤田頼伯(101)「15位」増尾哲(114)「BB賞」鯛天成雄(148)()=グロス
 おめでとうございます。

第5回KDAゴルフコンペは

伊勢方面へ1泊で企画予定(3月~5月)

(幹事 尾崎要氏)

第6回理事会より

〔開催日時〕平成元年1月19日(木)
午後5時～6時

〔開催場所〕東山荘

〈出席理事〉今西慧 本郷大田子 嶋高宏
藤田頼伯 宮川万樹夫 鈴鹿芳康 熊谷實
奈良磐雄 大木ミヤ子 中村隆一 尾崎要
恩地惇 久谷政樹 黒竹節人 南澤弘
田積司朗

〈委任理事〉柴田献一 阿部コウイチ
若林温子 山本竜一

〈欠席監事〉藤川延子 富家宏泰

第6回理事会は「KDA新年会」の開かれる東山荘で開催された。

新年に入って初めての理事会、今年もどうぞよろしくとの今西理事長代行の挨拶があり、本郷副理事長の進行で議案に入った。

■第9回京都デザイン会議について久谷常務理事よりの報告

山本担当理事が海外出張中なので、暮から新年にかけて今西理事長代行と企画をたて原案が決まった。1月18日の実行委員会でも原案が承認されたので、審議、承認いただきたい。

第9回京都デザイン会議

〈テーマ〉京都(まち)のキーワードを探る

〈とき〉平成元年3月18日(土)

登録受付 12時30分

開 会 13時15分

〈ところ〉日図デザイン博物館

京都市伝統産業会館

〈参加費〉10,000円(パーティ・会議録含)

当日持参

〈定 員〉200名(ハガキ申込み先着順)

〈主 催〉京都デザイン関連団体協議会
(京デ協=11団体)

基調講演を井上章一氏[(財)国立日本文化研究センター助教授]にお願いし、その後10



89.1.25号 No.03

KDA-NEWS

の分科会に分かれトークセッションを行う。

例年KDAが幹事団体となり進めてきた事業なので今回も全力をあげて企画推進に協力する方向で承認された。

■ファッション市民大学委員会(鈴鹿芳康担当理事)よりの報告

第12回ファッション市民大学の開催計画がまとまり、参加者募集の印刷物も整った。前回までは3日にわたり開催してきたが、今回は参加しやすいよう1日とし、内容を凝縮する方向で企画した。参加者募集にも全力で協力体制を組んでもらいたい。

〈主催〉京都市・京都商工会議所

〈企画協力〉KDA

テーマ BACK TO KYOTO

「東と西 和と洋 男と女の三角関係」

日 時 1989年2月22日(水) 1時～5時

場 所 京都商工会議所講堂 定員 350名

入場料 一般 2,500円 学生 2,000円

総合司会 今西慧(KDA)

講 師 〈ファッション〉着目の発想

金城甫永(ビームス経営者)

〈和装〉伝統の奥行

寺井庄兵衛(京染卸業)

〈ディレクター〉“間”の共感

瀬地山滯子(NHKチーフD)

〈建築〉古都の共通項

柴田いずみ(建築家)

〈色彩〉色彩の誘惑

有山幸子(色彩分析家)

〈広告〉誤解と虚像

ハル・ゴールド(コピーライター)

当日の進行をスムーズにするために、来月早々パネラーと打合わせの会合を持つ予定。

これについて理事会で了承すると共に、全面協力体制で臨むことに決定。

■会員増強問題について尾崎理事より

財務の立場から会員増強を年度内最低2～3名目標にお願いしたい。

出席理事に新規加入勧誘の可能性を聞いたところ数件はあるようです。早急に手続きまで進めるようお願いする。

宮川理事より、会員増強をやり易くするための目玉行事や目標を企画する必要があるとの意見があり、理事会が中心になり具体案を考える方向で了承された。

■KDA年末サロンについて田積常務理事よりの報告

開催経過の報告。皆さんの積極的な参加のおかげで大盛況のうちに終えることができ、出席者は102名を数えた。

今後のサロン企画は隔月開催ぐらいのペースを考えているので、連絡在り次第ご参加ください。

(詳細はKDAニュース12月号ですすでにご紹介済み：編集室)

■京都デザインコンペ委員会より中村理事の報告

昨年実施した第27回京都デザインコンペの結果は、朝日、毎日、京都新聞各紙他、日経デザイン、アクシス、ポートフォリオ等の専門誌も掲載してくれた。次回の公募に大いにプラスになると考えられる。次回のコンペ実施企画は目下立案中で、原案が固まり次第報告させていただく。

■KDAニュース委員会より奈良理事の報告

KDA会員相互の面識が無い状況が続く中、現状打開策の一つとして、会員紹介を目的としたKDAニュース別冊の発行を企画している。ニュース委員会の委員長も空席であるのでニュース委員会の委員長及び、その企画責任者を木村紀久雄氏にお願いしたいので承認いただきたい。

大変結構なことなので是非お願いしたい。早速理事会より委嘱状をそえてお願いするこ



とで了承された。

■一般報告

各種送付物が届いている、各自閲覧する。
[KDA Cルーム(事務局隣室)に常設]

■その他

◎柴田理事長の近況について(恩地理事より報告説明)

柴田理事長は昨年暮に手術を受けられた(病名は十二指腸潰瘍)。術後の経過は順調で、お正月は一時退院、1月10日から予定として5週間、術後の内科的検査のため再入院。お元気です。

桂病院 外科病棟 C棟 3F 305号

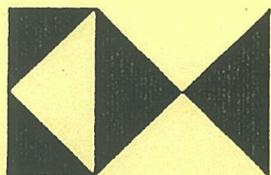
◎阿部コウイチ氏より退会願いの手紙が届いている。今西理事長代行に話を伺ってもらった後で判断することになった。

◎第12回京都ファッション市民大学講師派遣について。同イベントの総合司会として今西理事長代行を派遣することです承。

◎日本紙アカデミーより国際紙造形展に対する後援名義使用願いが出ている。使用を許可することです承。

◎'88 京阪神ファッションマンス・第4回実行委員会ならびに閉会式開催(1/26)の案内がきている。今までの経緯も良く理解している今西理事長代行に出席してもらうことです承。

◎京都誂友禅工業組合理事長 加納庄平氏より40周年記念式典参加の礼状が届いた。



●1989年2月25日号 No.01
●発行 (社)京都デザイン協会 KDA-NEWS委員会
●事務局 京都市東山区祇園町北側 ABL3階 〒605
TEL075(541)0239 FAX075(525)0294

KDA-NEWS

第7回理事会より

〔開催日時〕平成元年2月22日(水)

午後4時30分～6時30分

〔開催場所〕京都商工会議所B1(井筒)

〈出席理事〉今西慧 本郷大田子 嶋高宏
藤田頼伯 宮川万樹夫 鈴鹿芳康 熊谷實
奈良磐雄 大木ミヤ子 尾崎要 久谷政樹
黒竹節人 田積司朗 若林温子 山本竜一
恩地悖

〈委任理事〉柴田献一 阿部コウイチ
中村隆一 南澤弘

〈欠席監事〉藤川延子 富家宏泰

第7回理事会は「ファッション市民大学」が開かれた京都商工会議所地下にある「井筒」で開催された。

「ファッション市民大学」も久谷常務理事、鈴鹿理事をはじめ理事の皆さん、会員各位のご協力のおかげで無事終えることが出来、ありがとうございました。との、今西理事長代行の挨拶があり、本郷副理事長の進行で議案に入った。

■KDA新年会の報告(田積常務理事より)

去る1月19日に開かれた「KDA新年会」は、44名と多くの出席者を迎え盛況のうちに終えることが出来た。KDAサロン委員会(田積、大木理事、樽家委員長、山本副委員長、園部、堺、小川委員)の反省会では、余剰金が出たので、今後のKDAサロンの企画に有効に使えるように理事会で計って貰いた

いということになった。

理事会ではこれを受けて審議した結果、基本的にはKDA全体の収入として考える。今後のKDAサロンの企画内容によっては予算をオーバーする企画があるかも知れないが、その時はその時で検討していきたい。サロンへの参加者も徐々に増えてきており、サロン委員会の今後の益々の御尽力をお願いしたいということになった

■ファッション市民大学委員会(鈴鹿芳康担当理事)よりの報告

第12回ファッション市民大学は本日、京都市・京都商工会議所に協力し、KDAからは今西副理事長、久谷常務理事、寺谷委員長、津守副委員長、六渡委員はじめ多くの方々の御尽力により成功の内に終えることができた。過去開かれたファッション市民大学は、財政的には成功であっても、参加者の実数が少なかったとの反省点を克服すべく、今期KDAファッション市民大学委員会は、会場を満席にすることを最大の目標に置いてきた。会場の収容可能数 350に対して、入場券実売数 350、招待券配布数 250で、本日の入場者数 300余となった。この実績を参考に、今後の発行券数を考える必要がある。

理事会としては協力団体として責任を果たすことができたので、委員会の努力に感謝した。

■第9回京都デザイン会議について山本理事よりの報告

今西副理事長と久谷担当常務理事に立てていただいた企画原案どおり、「京都デザイン



会議」委員会でも承認されたので、情報宣伝活動に入っている。今回は第9回で、第10回を前にして、多くの講師を呼ぶことをせずに、質素に、トークセッションを充実させる内容にした。

KDA理事会としては、目標 200名を達成するよう、理事を中心に、動員を含めた全面的協力体制を組む。山本担当理事を中心に、みね委員長、今川副委員長、寺谷、堀木委員協力のもと一層のご努力をお願いする。協賛金は順調に集まっている。

第9回京都デザイン会議

<テーマ> 京都(まち)のキーワードを探る

<と き> 平成元年3月18日(土)

登録受付 12時30分

開 会 13時15分

<ところ> 日図デザイン博物館

京都市伝統産業会館

<参加費> 10,000円(パーティ・会議録含)

当日持参

<定 員> 200名(ハガキ申込み先着順)

<主 催> 京都デザイン関連団体協議会

(京デ協=10団体)

基調講演を井上章一氏[(財)国立日本文化研究センター助教授]にお願いし、その後10の分科会に分かれトークセッションを行う。

なお、当日の総合司会は嶋常務理事、パーティの司会は沢井敬子氏にお願いする。

■KDA・Cルームの使用条件及び管理責任について今西副理事長より報告

KDA・Cルームは浅井商店より賃貸契約を結び借りている。使用上の問題について、浅井商店の直接管理者との間で、契約内容の認識のずれがあるため、KDA事務局の諸江さんが対応に困ることがある。

理事会としては、認識のずれを無くすため今西副理事長と尾崎担当常務理事に先方と話

し合ってもらふこととし、KDA・Cルームをもっと有効に活用する方向で、使用規定を考えていく事にした。

■'89 デザインイヤー参加事業

「方丈有理」デザイン展の企画について

恩地理事より提案

'89 デザインイヤーの運動に呼応して、1989年10月18日(水)~11月21日(火)の期間、京都市上京区にあるGK京都 ギャラリーホールにて「方丈-鴨長明方丈記文中」の今日的解釈による、コンセプトデザインモデル展示を中心に、道具・住居・都市に対する視覚的表現を展開した展覧会を開催したい。展示対象者としては、一般生活者、企業内開発担当者、関係行政機関、デザイン系大学機関/学生、海外を含む世界デザイン会議参加者等を考えている。開催実行委員会のメンバーには京デ協、KDA、GK京都の三団体。協賛は各社。KDAは都市美観研究会が中心になり推進する。予算総額は1,200万円程度。

以上の説明に対してKDA理事会としては、主旨は理解できるが、予算案が多額であり、調達の方法も具体的でなく、KDAの具体的な係わりかたもよく分からないので、後日、さらに具体性を持った企画内容に対して審議することにした

■会員展について若林担当理事よりの報告

1989年度のKDA会員展企画を立案中。

『雨にうたえば・Singing in the Rain』というテーマで『傘』のデザインに挑戦してみましようと言うもの。ABLホールで、季節的に6月開催を目標とし、これから賛助会員のムーンバットさんに共催依頼の交渉に入る段階。詳細が決まり次第、理事会に報告。

理事会としてはこれを承認した。

■一般報告

各種送付物が届いている、各自閲覧する。
[KDA Cルーム(事務局隣室)に常設]

■その他

◎柴田理事長の近況について(今西副理事長より報告説明)

柴田理事長は2月17日(金)無事退院され、3月一杯は静養のため、公的行事は欠席されます。

◎阿部コウイチ氏よりの退会願いについて(今西副理事長より報告)

再三電話をかけているが、連絡がつかず、とりあえず、退会を考え直していただきたいという内容の手紙を送った。
理事会としてはこれを確認した。

◎伝統産業品パイロットショップについて(今西副理事長より報告)

京都市が伝統産業振興支援事業の一つとして、この4月、東京青山のプラザ246の1階にパイロットショップを開設す

ることになった。

運営母体となる京都市パイロットショップ運営協議会(西村大治郎会長、16人)のメンバーにKDA理事長 柴田献一も参加してもらいたいとの依頼があり、理事長代行の今西が2月27日(月)の会議に出席することになった。

理事会としてはこれを承認した。

◎新入会員について

鳴、本郷両理事の推薦で太壽堂典子氏が正会員としての入会を申込んだ。氏は成安女子短期大学を卒業後、鳴デザイン事務所に就職。退職後、石田大成社に入社、大丸京都店にコピーライター・プランナーとして出向、現在に至る。

理事会としては氏の入会を全員一致で承認した。

◎「全国工芸代表者会議」の事業報告書、収支決算書が送付されてきた。KDAは協賛団体。

理事全員が閲覧した。

KEY-WORDS-'89 TALK TOGETHER FOR OUR KYOTO

第9回『京都デザイン会議』

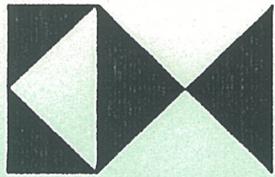
とき●1989年3月18日(土) 登録受付 12時30分・開会 13時15分

ところ●日図デザイン博物館・京都市伝統産業会館(左京区岡崎)

参加費●10,000円(パーティ代・会議録代を含む、当日持参)

KDA会員は知人を誘ってこぞって参加を!

参加申込みは所定のハガキかお電話で事務局まで



●1989年4月25日号 No.01
 ●発行 (社)京都デザイン協会 KDA-NEWS委員会
 ●事務局 京都市東山区祇園町北側 ABL3階 〒605
 TEL075(541)0239 FAX075(525)0294

KDA-NEWS

京の街、未来像探ろう

京都デザイン会議 10分科会で考察

建都千二百年、さらには二十一世紀に向けて、京都自身のあるべき都市像を探ろうという「第九回京都デザイン会議」(京都デザイン関連団体協議会主催、京都新聞社など後援)が十八日午後、京都市左京区岡崎の日図デザイン博物館で開かれ、デザイナーや一般市民百人が講演と分科会に参加した。

京都デザイン会議は昭和五十六年の第二回以来「京都パウハウス考」「わがマチの町衆会議」「スーパーデザイン」などをテーマに、京都の形や心を話し合ってきた。今年に通産省の提唱する「デザインイヤー」が四月からスタートすることや、建都千二百年が間近に迫ってきたことから「十のキーワードから京都

自身のシテイ・アイデンティティを改めて考えることにした。

初めに井上章一国際日本

京都デザイン会議
成功裡に終了

井上氏



京都新聞3月19日付<朝刊>

京デ協(京都デザイン関連団体協議会)主催、KDAは幹事団体として参画し、平成元年3月18日(土)午後1時15分より、第九回「京都デザイン会議」を日図デザイン博物館・京都市伝統産業会館で盛大に開催した。平成元年から建都1200年へ、そして21世紀へ『KEY - WORDS - '89 TALK TOGETHER FOR OUR KYOTO 京都(まち)のキーワードを探る』のタイトルのもと、嶋高宏KDA常務理事の総合司会で、今西慧実行委員会委員長が柴田献一京デ協議長に変わって開会の挨拶を

し、会議はスタートした。

国際日本文化研究センター助教授の井上章一氏が「京都に告ぐ、この没落を肯定せよ」というテーマで基調講演をした。講演の中で氏は、京都は文化の中心からは没落する運命しかないということをお笑いや、学問の世界の分かりやすい例を引き合いに出し論証して見せた後、日本が衰弱を迎えるであろうこの先、京都は衰弱の先進都市として君臨できると結び、鋭く問題提起をした。

コーヒープレイクの後、「文化・観光都市」

決してユニーク、奇抜なものだけがクローズアップされることはないとするなら、関西のお笑い芸能のみが中央で活躍している。これはユニークな才能と、辺境に

「劇場都市」「養老・霊園都市」「家元・本山都市」「数奇・遊芸都市」「情報・創造都市」「歴史都市」「伝統・工芸都市」「町衆都市」「美食・美人都市」のキーワード別10分科会に分かれ、全員参加でトークセッションを熱っぽく展開した。

分科会終了後、分科会のトークリーダーから簡単な総括報告があった。

このデザイン会議の詳しい内容は会議録として5月に発行される。

6時から、参加者の親睦パーティが開かれた。KDA会員の沢井敬子氏が司会を担当、今西慧氏のパーティ開会挨拶の後、来賓の京都府商工部染織工芸課理事 南恵美子氏にご祝辞を頂き、続いて京都市経済局商工部部長 山田富男氏のご発声で乾杯をした。基調講演の講師 井上章一氏が最近出版された本「邪推するたのしみ」福武書店(1200円)のPRもあつたりで、パーティも和やかに進み、閉会予定時刻の少し前、開催委員会委員長のお



歓談するKDAメンバー

久谷氏 本郷氏 太壽堂氏 嶋氏
 (TAIJUDOU)

一人 日図会長 団武夫氏の中締の挨拶でお開きとなった。

KDAではデザイン会議委員会(担当常務理事 久谷政樹、担当理事 山本竜一、委員長 みねゆうこ、副委員長 今川慶子、委員 寺谷玲、堀木エリ子)が中心となり、多くの会員が参加協力した。

KDA会員の鈴鹿芳康氏が、昭和63年度の京都市芸術新人賞をこのほど受賞した。3月18日(土)の京都新聞『人』欄に氏の紹介が掲載され、ご覧になった方も多いと思うが、見落とされた方のために保存版として収録。

受賞の気分は海苔まもな
 く、(こ)し(七)月にはアメリカでの個展、秋には東京、大阪と続く巡回個展が控えており、その準備に多忙な日々が始まっている。とりわけニューヨーク州サンタフェにあるアンドリュース・スミス画廊での個展は長年アリソン大学校内の写真美術館長を務め、この四月



昭和六十三年度の京都市芸術新人賞を、このほど受賞した。3月18日(土)の京都新聞『人』欄に氏の紹介が掲載され、ご覧になった方も多いと思うが、見落とされた方のために保存版として収録。

から、世界一の写真コレクターで知られるニューヨーク、四の五カメラを使う、その写真メデア作家として第一号の契約になった。「エニアート」は二年前に訪ねて来て、ボラロイド・論を書いてくれるなど援助

「髪の色は白いものが多いのは恥ずかしいよ」といっては、その準備に多忙な日々が始まっている。とりわけニューヨーク州サンタフェにあるアンドリュース・スミス画廊での個展は長年アリソン大学校内の写真美術館長を務め、この四月

から、世界一の写真コレクターで知られるニューヨーク、四の五カメラを使う、その写真メデア作家として第一号の契約になった。「エニアート」は二年前に訪ねて来て、ボラロイド・論を書いてくれるなど援助

「髪の色は白いものが多いのは恥ずかしいよ」といっては、その準備に多忙な日々が始まっている。とりわけニューヨーク州サンタフェにあるアンドリュース・スミス画廊での個展は長年アリソン大学校内の写真美術館長を務め、この四月



京都市芸術新人賞
 アメリカ個展で多忙
 鈴鹿 芳康さん

「髪の色は白いものが多いのは恥ずかしいよ」といっては、その準備に多忙な日々が始まっている。とりわけニューヨーク州サンタフェにあるアンドリュース・スミス画廊での個展は長年アリソン大学校内の写真美術館長を務め、この四月

から、世界一の写真コレクターで知られるニューヨーク、四の五カメラを使う、その写真メデア作家として第一号の契約になった。「エニアート」は二年前に訪ねて来て、ボラロイド・論を書いてくれるなど援助

「髪の色は白いものが多いのは恥ずかしいよ」といっては、その準備に多忙な日々が始まっている。とりわけニューヨーク州サンタフェにあるアンドリュース・スミス画廊での個展は長年アリソン大学校内の写真美術館長を務め、この四月

第8回理事会より

〔開催日時〕平成1年4月19日（水）

午後5時30分～7時

〔開催場所〕KDA・Cルーム

＜出席理事＞柴田献一 今西慧 本郷大田子
嶋高宏 熊谷實 奈良磐雄 大木ミヤ子
尾崎要 久谷政樹 田積司朗 山本竜一
恩地惇 中村隆一

＜委任理事＞南澤弘 藤田頼伯 宮川万樹夫
黒竹節人

＜欠席理事＞阿部コオイチ 若林温子
鈴鹿芳康

＜欠席監事＞藤川延子 富家宏泰

第8回理事会は病氣療養中であった柴田理事長出席のもと開催された。冒頭で柴田理事長は「長い間留守をして、皆さんに大変ご迷惑をかけてしまいました。おかげさまで何とか元気になりましたが、まだ全力で走るまでにはなっていませんが、もう大丈夫です。5月1日からKDAにも復帰させていただきますのでどうぞよろしく申し上げます」と、挨拶。出席理事全員が理事長の回復を祝うと共に、復帰表明を歓迎して拍手を送った。

■今西理事長代行より、南澤、黒竹両理事は京都市が伝統産業品のパイロットショップとして、東京青山のプラザ24にオープンする『STAGE 京都』のオープニングレセプションにKDA代表としても出席していただいているので、理事会には欠席されますとの報告があった。

■KDA都市美観研究委員会の発表会実施の承認について（田積担当常務理事、恩地担当理事より）

まず田積担当常務理事より、前回理事会で都市美観研究会より提案のあった '89 デザインイヤー参加事業 「方丈有理」デザイン展の実施企画案（KDAニュース2. 25号に掲載）は、予算案が多額であり、調達の方法も具体的でなく、KDAの具体的な係わりかたもよく分からないので、後日、さらに具体性を持った企画内容に対して審議することになっていた。その後、委員会でさらに検討を重ね、企画案を特別常務理事会で審議した結果をこの理事会にお計りしたいとの導入説明があった。

続いて恩地担当理事より詳細説明があった。

- KDA都市美観研究会は昭和62年4月より24名の有志参加を得、「京都の街のあり方」を都市美観の観点から研究し、デザイナー集団としての発言を行う目的でスタートした。
- 昭和62年度の研究は「都市の機能＝経営」の基本研究に力点を置き、「京都の都市機能とは何か」「京都の都市景観の基本とは何か」についてまとめた。
- 昭和63年度の研究は「都市景観の具体とビジョン」「屋外広告物の調査研究」を中心に進めた。
- これら2年間の研究成果を途中ではあるが、今年がデザインイヤーということもあり、名古屋に集まる国際的に有名なデザイナーたちが京都を訪問してくるのは確実であり、その受け皿の一つとして展覧会を企画し、発表してはと考えた。
- 会場は経費が安く、展示効果の上がるスペースを検討中。
- 会期はデザイン博覧会会期に照準を合わせ平成1年10月18日～11月21日とする。
- 主催は実行委員会とし、コアメンバーはKDA都市美観研究会、京デ協「HOPE計画」特別委員会、GK京都プロジェクト委員会、他になる。

- 協賛は関連企業に働き掛ける。
- 予算は総額500万円程度を見込む（KDA研究会としては63・64年度の研究会予算額を出ないものとする）

以上の企画説明を受けて、KDAとして承認するかどうかの審議に移った。さまざまな意見や質問が出たが、主なものは以下のものであった。

- ・研究会の今までの研究活動は意義深く、KDAとしては支持していきたい。
- ・実行委員会コアメンバーに一企業であるGK京都が入っているが問題は無いか。
- ・研究会が他の一般企業や団体と共同して事業を行うことは、今後もおおいに在り得ることで、前向きに考える必要があろう。
- ・予算出費に関しては、研究会の予算内であれば、意義のある事であり問題無いのではないか。
- ・全体予算が大きく、協賛金に頼る部分が多い企画なので、セールシートを早急に作り、協賛企業に当り、予算が集まるかの目途を立てる必要があろう。
- ・もし赤字が出た場合、研究会がやっていることなのでKDA本体として知りませんということにはならない。
- ・協賛企業に協賛依頼状を出す必要があろうし、その場合実行委員会のコアメンバーである京デ協「HOPE計画」特別委員会の母体である京デ協参加10団体の承認が得られるか。
- ・デザインイヤー参加事業の一つとして位置づけるなら、規模をもっと拡大し、ITFの実行委員会方式（多くの企業、団体、個人からなっている）が望ましいのではないか。それには多くの実行委員会メンバーが必要となる。
- ・研究会の発表と、デザイン展の企画は次元が違うように考えられるので、もっと内容を整理した上で理事会に下ろしてもらいた

い。

理事会での結論は、常務理事会でさらに問題点を明確にした上で再度理事会に計ることとし、持ち越された。

■第9回通常総会について（今西理事長代行より）

先日開催した常務理事会で第9回通常総会の日程案が決まった。審議、承認した。

＜日時＞平成1年6月2日（金）

午後5時～6時 総会

6時～ 懇親パーティ

＜場所＞ABLホール（ABLビル3F）

＜内容＞決算報告、事業報告、予算・事業案審議

総会資料作成のため、各委員会委員長及び担当理事が協力して事業報告、事業計画の原稿を事務局に提出。4月中にまとめて印刷発注を行う（とりまとめは尾崎担当常務理事）
監査は5月10日に願する。

■嶋常務理事より、4月17日（月）に開催されたWFFの総会にKDA理事長代理として出席した旨の報告があった。

■田積常務理事より、今年度も社会福祉法人京都市社会福祉協議会から委託されている福祉機器コンペの運営委員会へ参加する旨の報告があり、承認した。

■第28回 京都デザインコンペ'89についての報告（久谷担当常務理事より）

京都市、平安建都1200年記念協会、KDA共催の第28回 京都デザインコンペ'89に関する第1回打合わせ会を、4月19日京都市との間で開き、下記内容が討議された。

●日程について

作品搬入 10月25日（水）

作品審査 10月26日（木）



展覧会期 11月9日(木)～12日(日)

作品搬出 11月13日(月)

●審査員について

人選を急ぐ必要がある。

●会場について

昨年の日図デザイン博物館

今後の具体化に関する詰めの作業は、KDAデザインコンペ委員会(中村担当理事、鯛天委員長)が中心に進めていくことになる。

■一般報告

- ・各種送付物が届いている、各自閲覧する。
[KDA Cルーム(事務局隣室)に常設]
- ・京都友禅共同組合より組合40周年記念 京友禅競技大会が無事終了した礼状が届いた。

・(財)平安建都1200年記念協会より黒川敏氏から畠山博之氏に事務局長が交替したとお知らせがあった。

・京都府知事より「京都 花と緑のフェスティバル」のオープニングセレモニーへの御招待状が届いた。

〈お詫び〉前回ニュースの第7回理事会だよりの「阿部氏退会願ひ」の記事に、同氏との電話連絡不通云々の表現があり、たまたま連絡が取れなかっただけなのに、同氏の所在不明のような印象を与える表現でした。お詫びして訂正いたします。なお、その後、電話など手紙でも連絡がとれ、同氏には重ねて慰留をお願いしています。(今西・奈良)

★柴田理事長5月1日より復帰。

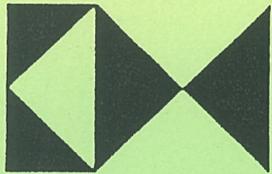
★KDA通常総会 6月2日(金) 5時より
ABLホールで開催。

★各種委員会は本年度事業報告、次年度事業計画の原稿をまとめる。

★第28回 京都デザイン会議の企画立案スタート。

★京都市の伝統産業品パイロットショップ
『STAGE 京都』東京青山にオープン。

★KDA NEWSに内外情報を★



●1989年6月15日号 No.01
●発行 (社)京都デザイン協会 KDA-NEWS委員会
●事務局 京都市東山区祇園町北側 ABL3階 〒605
TEL075(541)0239 FAX075(525)0294

KDA-NEWS

社団法人 京都デザイン協会

..... 第9回 通常総会が無事終了



(社)京都デザイン協会の第9回通常総会は、平成1年6月2日(金)午後5時より、会員56名(委任状を含む)の出席を得て、ABLビル3Fホールにて開催され、6時から懇親パーティが開かれた。

本郷副理事長の司会で、今西副理事長の開会宣言によりスタートした。冒頭、柴田理事長は「多くの来賓をはじめ、賛助会員、会員にお集まりいただき、誠に有難く、嬉しく思います。昭和63年度上半期は頑張っていたのですが、下半期は残念ながら病気になってしまい、多くの方々に御迷惑をかけ、また、ご

心配を頂き申し訳なく思っています。療養中は今西、本郷副理事長をはじめ常務理事を核として理事、会員の皆さんで運営されてきたことに、改めてお礼と感謝を申し上げます。

昭和63年度の決算報告がのちほど行われますが、社団法人になってようやく収支が1千万円を越えました。これは悲願でもあった事で、指導していただいた行政担当並びに会員各位にご報告申し上げると共に、厚く感謝申し上げます。本日の総会が無事終了しますよう御協力お願い致します。」と挨拶した。

続いて、今西副理事長を議長に、議事録署



名人に会員の中から中塚勝、みねゆうこ氏を選任し、議事に移った。

1号議案：昭和63年度事業報告で、それぞれの事業の担当理事、委員長より報告があり出席者満場一致で承認された。

2号議案：昭和63年度収支決算報告として

収入総額 10,789,413円

支出総額 11,494,496円

当期収支差額 705,083円

と、尾崎財務担当理事より報告され、続いて富家、藤川両監事による会計監査報告が「間違いはありませんでした」とあり、満場一致で承認された。

3号議案：会員移動状況報告が本郷副理事長よりあり、承認された。

4号議案：平成元年度事業計画が本郷副理事長より紹介され、承認された。中でも都市美観研究会の中間報告として、奈良委員長がKBS京都のタイムリー-10にゲスト出演して研究報告を行った（6月2日放送）ビデオを会場で再生し好評を得た。

5号議案：平成元年度収支予算案として

収入総額 12,595,000円

支出総額 12,595,000円

が尾崎財務担当理事より提示され、満場一致で承認された。

6号議案：その他として新入会員の太壽堂典子（たいじゅどう のりこ）〔グラフィックデザイナー〕、橋本繁美（はしもと しげみ）〔グラフィックデザイナー〕、山本新太郎（やまもと しんたろう）〔染織図案家〕、高木 秀（たかぎ しゅう）〔建築・インテリアデザイナー〕の四氏と、新入賛助会員の株式会社 田中プリントが紹介された。

報告、議案がすべて終了した段階で、来賓の京都府 商工部染織工芸課 辻本泰弘課長、京都市 経済局商工部伝統産業課 西口光博課長、京都商工会議所商工振興部 中西元参



富家、藤川両監事



辻本課長



西口課長



中西参事



特別会員の西脇先生



松岡課長



乾杯のご発声 団会長



事にご祝辞を頂いた。それぞれKDAのさらなる発展を期待する励ましの内容で、心温まるものであった。

祝電披露の後、本郷副理事長より閉会の挨拶があり、無事総会を終了した。

引き続き、総会会場横に用意されていたパーティ会場に席を移し、黒竹理事の司会で懇親会がスタートした。特別会員の西脇友一先生、京都府立中小企業総合指導所 デザイン課の松岡正課長にご祝辞を頂き、関連団体、特別賛助会員、賛助会員各社をご紹介し、関連団体を代表し（社）日本図案家協会 団武夫会長のご発声で乾杯し懇談に入った。

パーティ半ばで恒例により、新入会員の紹介があり、一人ずつ挨拶を頂いた。和やかな雰囲気の中にパーティも無事お開きになった。

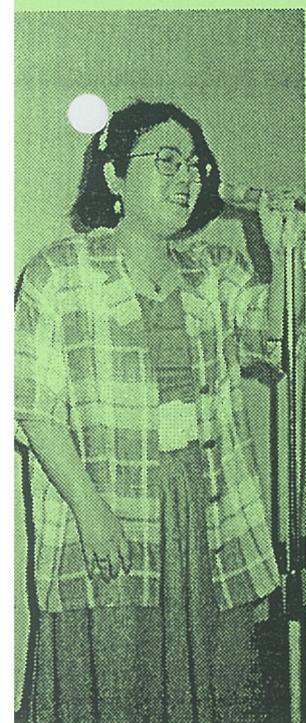
これでKDAも平成元年度に入るわけで、理事長、副理事長、常務理事、理事、会員が一丸となって社団法人 京都デザイン協会の名に恥じない積極的な活動が望まれる。



左から南澤、宮川、西口、熊谷、黒竹各氏



左から橋本、西口、西脇各氏



田中氏（賛助）



橋本氏



太壽堂氏



山本氏



高木氏



第9回理事会より

[開催日時] 平成元年6月2日(金)

午後4時~5時

[開催場所] KDA・Cルーム

＜出席理事＞柴田猷一 今西慧 本郷大田子
宮川万樹夫 嶋高宏 熊谷實 奈良磐雄
大木ミヤ子 尾崎要 久谷政樹 黒竹節人
若林温子

＜委任理事＞南澤弘 藤田頼伯 田積司朗
阿部コオイチ 恩地惇 鈴鹿芳康

＜欠席理事＞中村隆一 山本竜一

＜欠席監事＞藤川延子 富家宏泰

第8回理事会は柴田理事長の「本日はこの理事会の後、総会及びパーティが控えていますのでどうぞよろしくお祈いします」との挨拶で始まった。

■本郷副理事長より本日開催される第9回通常総会の式次第及び議題についての提案があった。詳細について検討し、出席理事全員の了承を得、総会に臨むことになった。

■高木秀(たかぎしゅう)氏の正会員入会について

伊藤、今西両会員の推薦で、建築・インテリアデザインが専門でタカギデザイン工芸株式会社取締役をやっておられる高木秀氏を正会員として入会していただくことに出席理事全員が賛成した。昭和34年生れの30歳。若手のホープをどうぞよろしく。

都市美観研究会

『屋外広告物の美しい在り方』

中間報告まとまる

■KDA都市美観研究会(田積担当常務理事、恩地担当理事、奈良、真鍋委員長)の昭和63年度研究テーマ「屋外広告物の美しい在り方」の中間報告がまとまった。

京都市内18か所の街かどの状況を写真及びビデオで取材し、その風景から看板類を全てコンピュータ処理で消去し、看板の無い街かど風景を作り出し、看板のある風景と全く無い風景を対比しながら、都市美観における看板の在り方に対し問題提起している。

看板を全く無くしてしまうと、今まで見慣れていた風景が全く何処のものなのか判らなくなるほどの変貌をとげ、悲しいほど個性のない街かどになる。看板の景観にしめる視覚的影響力の強さ、メンタルな面にまで浸透し

第3種郵便物認可



看板とればこんな街角

街角の看板をなくしてみた
ら、こんなにすっきり——京都
芸術短大の奈良幹助教授(前)

板のない仮定の街角(回下)を作り出し、約三分のビデオにまとめた。個性的な看板は街にうるおいを与えることもあるが、無秩序な自己主張は美観を損ね、効果をなくすことが、これではつきり。「都市景観は文化レベルのバロメーター」と、奈良助教授。身の回りの気になる風景の写真があれば、看板を消す実験に応じるといふ。
問い合わせは同短大ビジュアルデザイン研究室(075-7179100六六)へ。

列島縦横

ている印象の強さをまざまざと見せつけられるが、それを今後、都市美観の中で望ましい姿としてどう位置付けていくかは、研究会の今後のテーマであり、提案が期待される所であろう。

この中間報告は、5月23日（火）朝日新聞夕刊紙上に取上げられ、近畿はもちろんのこと関東方面からの問い合わせがある。主な問い合わせは京都市風致課、奈良県計画局、建設省、

環境庁、NHK、KBS京都タイムリー10、講談社フライデー、テレビ朝日「欽どこ」等。

なお、興味を持って頂ける会員には、KDA事務局にファイルで保管されているので自由に閲覧していただきたい。

（コンピュータを使つてのシュミレーションに関する機器はシャープ株式会社の協力を得た）



☆現況



☆看板を消去



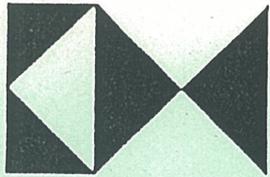
☆看板を赤く塗ってみる



☆電柱も消去

サンプルポイント●外環状線 六地蔵

交通量の多い京都市周辺道路で大型小売店、ファミリーレストラン、ガソリンスタンド等が車を対象にサイズの大きな看板を掲げている。



●1989年7月31日号 No.01
●発行 (社)京都デザイン協会 KDA-NEWS委員会
●事務局 京都市東山区祇園町北側 ABL3階 〒605
TEL 075(541)0239 FAX 075(525)0294

KDA-NEWS

第1回理事会より

[開催日時] 平成元年7月21日(金)
午後6時~7時30分

[開催場所] KDA・Cルーム

<出席理事> 柴田献一 今西慧 本郷大田子
宮川万樹夫 藤田頼伯 嶋高宏 尾崎要
奈良磐雄

<委任理事> 南澤弘 田積司朗 久谷政樹
阿部コオイチ 恩地惇 鈴鹿芳康 熊谷實
大木ミヤ子 黒竹節人 中村隆一
山本竜一

<欠席理事> 若林温子

<欠席監事> 藤川延子 富家宏泰

平成元年度 第1回理事会は柴田理事長の「総会后1ヶ月余経ち、梅雨も明け、いよいよ本格的な夏を迎えようとする時期ですが、皆様にはお変わりなくご活躍のことと存じます。本日の理事会の議事進行よろしく願います」との挨拶で始まった。

■本郷副理事長より各種委員会組織の活性化についての提案。

平成元年度のKDA組織は、総会で承認された通り、昨年度と同じ委員会構成を中心に運営していくが、KDAのさらなる発展を期待して、各委員会の長である担当理事は担当委員会の事業計画を具体化すべく、委員ともども活発な行動を起こして載きたい。委員会に参加載いていない会員の方も多数おられ、

KDAと具体的な関わりがないので参加している意味がないと思われる方も中にはおられるのではないかと。会員は順調に増えていってはいるものの、せっかく参加していただいた会員に、それなりの意義を感じていただくような内容を早急に立案、実施していく必要がある。

以上の提案に対して参加理事より次の意見が出された。

- KDAはデザイナー集団という立場から、作品を発表する場を共有する必要がある。
- さらに社団法人という社会的立場から、社会にデザインの部分でお役にたつ事業を行っていく必要がある。
- 最近のKDAの活動は後者に偏っており、デザイナー集団としてのフラストレーションが溜まってきているようにも見える。
- 社会的奉仕活動は当然今後もやっていくとして、デザイナーとしての作品発表の場を年1回、大々的に「KDAデー」として定め、多くの人々に参加してもらう催しを企画してはどうか。
- デザインコンペの時にも同時開催として会員展を開催してはどうか。
- KDAの様々な企画を立案していくためにもKDAサロンを定例化し、しばしば会員や会員の友人たちと集える機会を持たして欲しい。

以上の具体的、建設的意見に対し、常務理事会が各種委員会の担当理事と協力しながら委員会の舵取りをし、より活発な行動を伴ったKDAにしていくことで了承された。

さらに各委員会担当の出席理事より委員会関連の抱負や報告がなされた。

■特別事業・受託委員会の鳴常務理事より
世界デザイン会議協賛特別セミナー『世界
デザイン会議 キャラバンコンGRESS・イ
ン京都』(仮称)開催についての提案。

名古屋で開催されている「世界デザイン博覧会」と併せて「デザイン会議」が10月に開催されるが、それに先駆けデザイン会議事務局が、全国各地で世界デザイン会議協賛特別セミナーを企画、開催して貰えないかと、デザイン関連団体に呼び掛けており、KDAにも依頼があった。講師の依頼及び講師の経費はデザイン会議事務局が受け持つので、セミナーの内容、日取り、会場を企画し、実施してもらいたいということなので、このKDA理事会に計って返事をしたい。

理事会としては大変有意義な事なので、実施する。具体的な企画立案、実施は今西、本郷両副理事長、鳴常務理事、藤田特別事業委員会担当理事がこれに当たることで了承した。(テーマについて「夢のあるようなもの」というリクエストがあった)

■特別事業・受託委員会の鳴担当常務理事より
長浜ちりめん工業組合よりの地場産業活
性化計画受託継続に関する報告。

KDA受託事業委員会のプロジェクトチーム(本郷副理事長、鳴常務理事、黒竹理事)は、長浜活性化プロジェクトに関する1988年度事業を終了、報告書を提出した。先方より引き続きプロジェクトを推進していただきたいとの申し出が有り、7月24日(月)1時30分よりKDA・Cルームにて打ち合わせを行う。

理事会としてはこれを承認した。

■京都デザインコンペ委員会の活動について
本郷副理事長より報告。

久谷担当常務理事、中村担当理事ともご欠席ですので代わって報告します。第28回 京都デザインコンペ'89 の募集要項がまとまり、応募用紙が刷り上がったので各方面に郵送配布した。今回は西脇友一(KDA特別会員、グラフィックデザイナー)審査員長以下、浅葉克己(アートディレクター)、喜多俊之(インダストリアルデザイナー)、コシノヒロコ(ファッションデザイナー)、高松伸(建築家)、日比野克彦(アーティスト)、柴田猷一(KDA理事長、IDデザイナー)各氏に審査に当たっていただく事になった。作品搬入は10月25日(水)、日図デザイン博物館。展覧会は11月9日(木)から12日(日)まで同デザイン博物館にて開催。多くの作品が集まるように皆様の御協力を要請します。

理事会はこれを了承したが、学生が夏休みに入る前に募集要項を配布出来るよう、もっと早く取り掛かって貰いたいという意見があった。さらに、デザイン専門誌のポートフォリオの編集長に記事掲載希望の話がしてあるので、入賞作品の撮影はきちんとやって貰いたいとの提案が藤田理事よりあった。

■デザイン会議委員会について本郷副理事長
より報告

先日、第9回デザイン会議の反省会が持たれ、その場に出された様々な意見をご披露し、第10回以降の参考にしたい。

- ・マンネリ化の打破。
- ・専門家だけでなく一般の人の参加も多く望める企画。
- ・外人講師も呼んで。
- ・テレビモニター等も活用して分科会の模様などを一ヶ所で見られるようにしては。

- ・全国に発信できるような会議に。
- ・メジャーな講師を招聘する。
- ・パワー不足。予算を持つとかける。
- ・広く意見を聞く。
- ・第10回は節目になるので早くから準備にかかる。

柴田理事長はこれらの意見をふまえて、京デ協の代表による委員会を8月に開催する予定があることと、KDAでも京デ協をどうとらえていくのかという論議をしてもらいたいと述べた。また、京デ協の協会団体の6割以上から21世紀に向けて何かやっという建設的な提案が出てきてもいい時期であるとも述べた。

■ファッション市民大学委員会の活動については京都市、京都商工会議所からの受託事業なので受託依頼があつてからの活動となると、本郷副理事長より説明があつた。

■研究会委員会の活動に関しては、都市美観研究会として研究を進めている都市美観と広告美観をドッキングして具体的なコンセプトモデル作りを進めると、奈良理事より報告があつた。

■親睦委員会の活動については、KDAサロンを定期的に開催する方向で考えていただくよう担当理事に要請すると、本郷副理事長が表明。

■広報委員会のKDAニュース発行はKDA理事会の審議内容をベースに確実に行っていく。さらに内容に幅を持たせるべく会員が関連するイベント情報も掲載したいので情報提供をお願いしたいと報告。

[情報はKDA 事務局または〒606

京都市左京区北白川瓜生山2-116 京都芸術短期大学 ビジュアルデザイン研究室
奈良磐雄宛
FAX 075(791)0066]

★その他★

■今西副理事長より「京都府中小企業総合センター」の運営協力依頼に関する報告。

6月30日の京デ協総会の席で、京都府中小企業総合指導所の松岡課長より、五条七本松に日本初の都市型学術文化ゾーン「京都リサーチパーク」が今秋10月20日にオープンする。その一画に京都府中小企業総合指導所を「京都府中小企業総合センター」と名称変更して移転し、府内中小企業に対する経営・技術両面の総合支援体制を強化したい。その一環として、ギャラリーを開設する計画があり、京デ協に運営の御協力を願いたい。については京デ協の幹事団体であるKDAのご意向をうかがえないかと相談があつた。理事会で審議願いたい。

京デ協のコミッティーを組織しこれに当る必要があるが、KDA理事会としては受ける方向で考えることでした。

ずっと以前からグッドデザインの選定をKDAとしてやりたいという希望があり、そういった場所が出来、積極的に関わられるのなら可能性が大きく広がったと考えてもいいのではないかという意見も出た。

■(社)日本図案家協会より第47回 日図創作図案準会員展 開催に伴う協賛名義使用並びに協賛金(10,000円)、賞状の下付に関する依頼状が届いた。理事会はこれを了承した。

■日図デザイン博物館より第12回 京都こど



も美術展 開催に伴う協賛名義使用並びに協賛金(20,000円)下付に関する依頼状が届いた。理事会はこれを了承した。

■福祉機器デザインコンペ実行委員会より
福祉機器デザインコンペ 89KYOTOの実施要項(案)が届き、打合わせの会議に参加してもらいたいとの要請があった。理事会は昨年も関わって戴いた柴田理事長、田積常務理事に出席を依頼することで了承した。

■本郷副理事長よりの会員カード提出状況報告で、未提出会員に対する督促を強める必要が述べられた。理事会は会員の義務である提出を強く要請することで了承した。

■事務局の夏休みについて尾崎担当常務理事より提案
8月11日(金)より8月17日(木)までを事務局の夏休みとしたいと提案。理事会はこれを了承した。

世界デザイン会議

かたちの新風景—情報化時代のデザイン

1989年10月、名古屋に世界のデザインの英知が結集します。世界でもっとも大きなデザインを考える国際会議が、本年10月、名古屋で開かれます。「世界デザイン会議(ICSID '89NAGOYA)」は、'73年の京都会議について、日本で2度目、実に16年ぶりのことです。デザインは、人々の営みの全てに深く関わってきました。そしていま、デザインは新たな時代を切り開く重要なキーワードになりつつあります。'90年代という新しい時代の幕開けを目前にした今年には、「'89デザインイヤー」として、生活・産業・文化のあらゆる分野で、デザインを通してそのあり方を見直し、その向上をめざして、多面的に考えていこうとする国民運動が展開されます。世界デザイン会議が開催される名古屋では、世界でも類例を見ない「世界デザイン博覧会」が7月15日から135日間にわたり開催されます。世界デザイン会議は、このような広がりのもとに、20世紀の世界と日本のデザインを総括し、来るべき90年代、そして21世紀へ向けて、新たなデザインのヴィジョンとパラダイムを、デザインのジャンルを越えて探求していこうとするものです。'89年10月、世界中からデザインに関わる全ての英知が名古屋に結集します。そして、世界デザイン会議から、'90年のデザインムーブメントの胎動がはじまります。そのために私たちは、より多くの人々の参加を呼びかけます。日本の、そして世界のデザインの新たな波を創り出すこの会議に、あなたのご参加を心から期待しております。

■ 会議概要

名 称 世界デザイン会議—ICSID '89NAGOYA
開催時期 1989年(平成元年) 10月18日~21日
開催地 名古屋市「白鳥センチュリープラザ」他
テーマ かたちの新風景—情報化時代のデザイン
Emerging Landscape : Order and Aesthetics in the Information Age
内 容 基調講演、分科分、エクスカッション、世界のグレート・デザイン展、市民フォーラム他
主 催 世界デザイン会議運営会
推 進 世界デザイン会議実行委員会

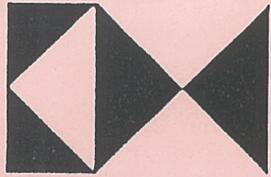
● 参加料

区分	時期	'89年7月31日以前	9月30日以前	10月1日以降
一 般		50,000円	55,000円	60,000円
学 生		25,000円	28,000円	30,000円
同 伴 者		25,000円	28,000円	30,000円

※参加者はウェルカムパーティ、公式レセプションに出席できるとともに、世界デザイン博覧会にも入場できます。10月21日(土)のさよならパーティへの参加には、別途3,000円が必要です。

● 申し込み及び問い合わせ先

世界デザイン会議運営会事務局
〒460 名古屋市中区栄二丁目10-19 (名古屋商工会議所ビル5階)
電話：(052)202-1100 ファックス：(052)201-0089



●1989年9月25日号 No.01
●発行 (社)京都デザイン協会 KDA-NEWS委員会
●事務局 京都市東山区祇園町北側 ABL3階 〒605
TEL075(541)0239 FAX075(525)0294

KDA-NEWS



KDA(社)京都デザイン協会特別セミナー

世界デザイン会議・キャラバンコンgres・イン・京都

●トーク

上岡龍太郎の「毒談・デザイン考」



平成元年9月14日(木)、(社)京都デザイン協会と世界デザイン会議-ICSID'89NAGOYAが主催の、世界デザイン会議・キャラバンコンgres・イン・京都が上岡龍太郎氏のトーク「毒談・デザイン考」をメインイベントとして祇園ABLビル<京都クラフトセンター>3F大ホールで、デザイン関係者や一般市民ら200名余りを集め開催された。

嶋担当常務理事の司会で進行。上岡龍太郎氏のトークに先立ち柴田理事長が「今日は多

くの方々にご参加頂きまことにありがとうございます。今年はデザインイヤーということで名古屋を中心に日本各地でデザインに関わる様々な催しが開かれています。世界デザイン会議が日本で開かれるのは16年ぶり2回目です。デザインが国際交流に果たす役割は16年前に比べ格段の進歩があるということは皆さんよくご承知のことです。21世紀にデザインの果たす役割を考える世界デザイン会議への参加を呼び掛けに運営事務局より人がこら

れています。上岡龍太郎氏は皆さんテレビでよく御存じのタレントさんで、お忙しいスケジュールをぬって来ていただきました。「毒談・デザイン考」のテーマでお話頂きますが、立体テレビとっていただいていたいいのではないのでしょうか。最後までどうぞよろしくお願い致します。」と挨拶。

続いて実行委員長の藤田理事が挨拶、この催しに30インチ大型液晶ビデオを提供して頂いたシャープ、カンチューハイを提供して頂いた宝酒造、中秋の名月にちなんで会場ディスプレイをして頂いた茨木春草園各社の紹介があった。

世界デザイン会議運営事務局 事業委員 上田氏より、10月18日より4日間名古屋の白鳥会場を中心に開催される『世界デザイン会議』への参加勧誘がビデオを混じえて行われた。分科会の中でも、21世紀へのデザインについて語るパネラーとして、バルセロナオリンピックのマスコットをデザインしたスペインのハビエル・マリスカル氏や、西ドイツのルイジ・カラーニ氏。コンピュータについて語るシャープの坂下清氏、トロン計画リーダー東大助教授坂村健氏らが参加するなどの紹介もあり、参加費6万円の価値を十分に持ち帰って頂ける内容は準備していますので多くの方の参加をお待ちしていますと締めくくった。

PRの最後として大阪より、財団法人 国際デザイン交流協会の石川氏が、11月17日より11月26日までインテックス大阪〔南港〕1号館で開催される『国際デザイン展'89』への勧誘を行った。

内容は、第4回国際デザイン・コンペティション作品発表、第4回国際デザイン・アワード受賞者紹介、海外学生デザイン交流展、パラダイス・ゾーンには企業の出品作がびらりと盛り沢山。20万人の来場を見込んでいますので多くの方々のご参加をと呼び掛けた。



多くのインフォメーションがあったが、いよいよ真打ち登場。立て板に水、コトバのマシンガンとは彼のこと、マンガトリオ時代の話し。俳優の東千代之助が話したと言う、録音テープやフィルムで自分の仕事を振り返ると、自分のいいところを見ってしまうのでダメと言う話し。大道芸人の話し。高校野球の話し。プロ野球の話し。話術の話し。女性を口説く方法。自分の知識は人が知らないような事ばかりを少しずつ知っていて、常識的なことはあまり知らない知識のドーナツ化現象の話し。海外旅行でおみやげを買って来る人は思いやりが無いと言う話し、日本語の表現はマイナスの表現になりがちであると言う話しなど、予定の1時間の講演時間をオーバーしてよどみ無く話し切った。「毒と薬は同じもの、口にする人の体質や状況により毒になったり、薬になったりする」とは上岡氏の言。参加者の皆さんにはどちらに作用したのでしょうか。詳しい内容をリピートしたい方はテープが事務局にありますのでどうぞ。

本郷副理事長のお礼の挨拶の後、ビール、日本酒、カンチューハイを飲みながらしばらく参加者同志で歓談。藤田実行委員長の締め挨拶で無事お開きとなった。

尚、この会の準備、進行、後片付けに関し、KDAの新入会員の方々が粉骨砕身頑張ってくれたことを報告させていただきます。

第2回理事会より

〔開催日時〕平成元年9月9日(土)

午後5時～7時30分

〔開催場所〕井筒ビル

＜出席理事＞ 本郷大田子 宮川万樹夫
嶋高宏 久谷政樹 尾崎要 奈良磐雄
大木ミヤ子 恩地惇 中村隆一 山本竜一
＜委任理事＞柴田献一 今西慧 南澤弘
田積司朗 藤田頼伯 鈴鹿芳康 熊谷實
阿部コオイチ 黒竹節人 若林温子
＜欠席監事＞藤川延子 富家宏泰

平成元年度 第2回理事会は柴田理事長の体調がすぐれず欠席で、十名の理事が出席のもと、本郷副理事長の進行で議案が審議された。

■嶋常務理事よりKDA特別セミナー「世界デザイン会議・キャラバンコンGRESS・イン・京都」の開催についての報告があった。

KDA会員の皆さんには既にハガキで御案内しているとうり、来る9月14日(木)PM5:30～8:30 祇園ABLビル3F大ホールにて トーク『上岡龍太郎の「毒談・デザイン考」』を会費3,000円で開催する。現在の出席希望者は102名であり、収支勘定から見ても150名以上の参加者を確保したい。事務局からも可能な限りの勧誘を行うが、出席理事の皆さんに5名づつの参加者を募るよう頑張っていたきたい。先日開かれた京デ協の会合でも、各団体メンバーにも参加をしていただくよう要請をした。

世界デザイン会議—ICSID'89NAGOYAのプロモーションビデオ上映に関してはシャープより大型液晶モニター・デッキの提供を受けることになった。

報告を受け理事会は、主催でもあるので参加者の勧誘に全力で当ることを了承した。

■KDAサロン開催について樽家委員長より提案(大木担当理事が遅れるので、理事会に

委員長が出席し報告するよう依頼があった)

新年度に入ってKDAサロンをまだ開催出来ずにいるが、10月以降のプランが出来ているので理事会で承認いただければ具体化に向けて進みたい。

○10月20日(金) 映画(ビデオ)をサカナにしたサロン。

事前に見たい映画のアンケートを実施しその中から上映作品を決めたいので御協力を。

○12月22日(金) シャンソンを聴きながらの忘年会。

○1月19日(金) 恒例の新年会。

○3月(日は未定)長浜の盆梅を鑑賞しながら鴨なべをつつきましよう。

以上の企画内容の報告を受け理事会は、日程がほぼ決まっているので会員もスケジュール調整がやりやすい。より具体化に向けて委員会に詰めていただくことで承認した。

■第10回京都デザイン会議について本郷副理事長より報告。

9月8日に第10回京都デザイン会議に関する京デ協の第一回打合せ会があり、KDAから柴田理事長(京デ協議長)、本郷副理事長、嶋常務理事、山本担当理事の四名が出席した。会議では、第10回目という節目でもあり、是非開催したい。中味に関する計画は、京デ協参加11団体(京都府造園建設業協会が新規加入)より各1名委員を出し立案、そのプランを団体長会議にて承認後、実行委員会を組織し、実施に移すという方法に決まった。

理事会は第10回京都デザイン会議のKDA代表内容企画委員として久谷担当常務理事(都合で出席出来ない場合は山本担当理事が代行で出席)にお願いし、了承が得られたので決定した。



理事会では、第10回目の京都デザイン会議を迎えるに当たって、KDAが京デ協の幹事団体として9回まで尽力してきたが、いつまで幹事団体を勤めるのか、団体長会議で話し合われる必要があるのではないかという意見も出た。

■第28回京都デザインコンペ'89 について中村担当理事より報告。

第28回 京都デザインコンペ'89 の募集要項がまとまり、応募用紙が刷り上り各方面に郵送配布したところまでは前回の理事会で報告の通り。それ以降、審査をお願いしていた高松伸氏の事務所より、その時期にパリへどうしても出張しなければならなくなり審査員を辞退したい旨の連絡が京都市にあり、どうすればいいかと相談があった。久谷常務担当理事とも相談し、KDAの委員会としては、既に印刷物を発送済みであり、変更通知を出すことも実際上不可能なので、このままで作品を公募し、審査員も代理を立てないで臨みたいとの結論に至ったがいかがなものか。賞金のアップに関して、京都市と交渉したが、今回は予算が決まっており次回以降の検討課題にしたいとの解答であった。応募作品点数の大巾増によっても賞金額アップが可能であり、今回の応募点数増に向けて主催団体として最大限の努力を必要とする。さらに応募作品の質の向上も大切であり、デザイン事務所等プロの人々へ応募を働き掛ける必要もある。

理事会はこの報告を受け、審査員高松氏の辞退はやむをえない、代理人は立てないということでも了承し、応募作品増に向けての努力はKDA会員全力を挙げてこれに取り組んでいただくよう要請することに決定した。

■その他の委員会からの報告

都市美観研究会の広告美観部門の奈良委員長が、この8月25日から9月7日の14日間にわたるアメリカの屋外広告物事情視察を終え

て帰国した（この視察旅行は京都芸術短大の特別研究助成制度適用による）。西海岸の港・観光都市サンフランシスコ、砂漠の中のギャンブルのみの都市ラスベガス、東海岸の港・文化・歴史の都市ボストン、港・金融・文化の都市ニューヨークと四都市の都市景観と看板をひたすら写真に収めてきた。まだ帰国したばかりでしっかりした考えはまとまっていないが、アメリカ大陸を初めて横断した感想は、ひたすら大きな国で看板も半端じゃないでかい物が目についた。時速150キロぐらいでブッ飛ばさないと目的地に着かない国なのだから、ちっぽけな上品な看板だと用を足さないのも納得できた。日本は大きさだけを真似して、国の大きさを考慮に入れていないということがよくわかった。それぞれの国、それぞれの都市のアイデンティティに合った看板の在り方があるということを改めて確認出来た。視野も少しは広がったので、実体験と資料写真を検討して、これからの都市に於ける看板の正しい在り方のレポートをまとめたい。

■一般報告

全国の各種デザイン団体より様々なデザイン関連情報の印刷物が届いている。会員の皆様が直接手にされている情報以外のものもたくさんあるのでKDA事務局で閲覧利用していただきたい。

■その他

●京都市パイロット・ショップ「ステージ京都」（東京・南青山 プラザ46）運営協議会より、第2回出品商品募集の通知があった。

募集製品は染織製品、陶磁器、漆器、木製品、竹製品、金属製品、石工芸品、紙製品あるいは異業種交流による製品などで秋・冬を意識した製品となっている。応募申込みは9月26日・27日（AM10:00～PM4:00）京都市伝統産業会館2F 第10研修室まで。

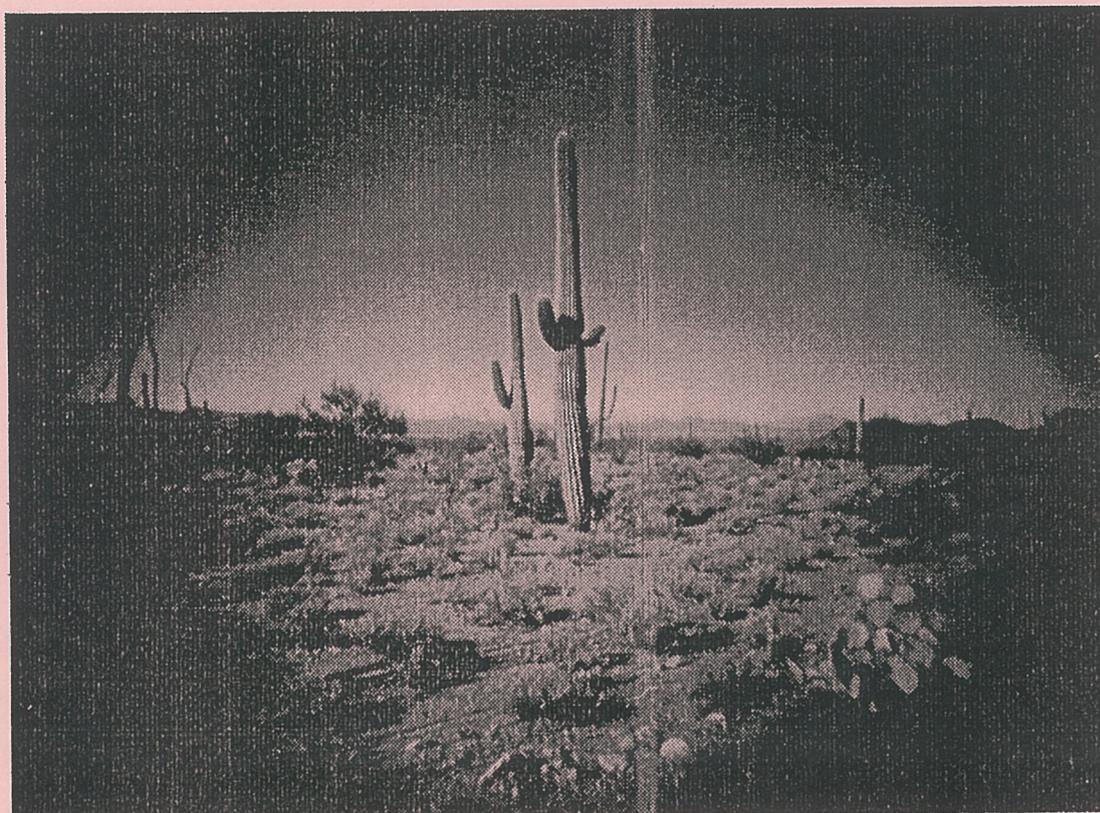
次回の募集は12月下旬を予定。

詳しくは京都市パイロット・ショップ運営協議会 TEL 752-2795まで。

●鈴鹿芳康理事より理事および皆様への手紙が届いた。「今年は自分の事でバタバタとしていて、理事会にも出席できず申し訳ございません。又、落ち着きましたらガンバリマス

のでヨロシクお願い致します。」と言うことで、サンフランシスコのアンドリュー・スミスギャラリー（7/21～8/31）と東京・目黒のミンギャラリー（9/9～10/8）での個展の案内状が同封されていた。ガンバッテいただきたい。

A N D R E W S M I T H G A L L E R Y



*Saguaro National Monument, AZ

© 1989 Yoshiyasu Suzuka

YOSHIYASU SUZUKA

RECENT PHOTOGRAPHS FROM JAPAN AND THE UNITED STATES

July 21 - August 31, 1989

★会員の松本司頌氏より展覧会の御案内を頂いた。

A[秋草イデア10人の家元]（9/20～25）

大阪梅田大丸ミュージアム12階

B[現代いけばな'89]（9/29～10/8）

東京銀座松屋8階

C[日本いけばな芸術中部展]（9/29～10/1）

A Bの展覧会では、ビデオを素材とした花と

映像シリーズ、映像空花「秋草博物誌'89」を発表。ご成功をお祈りします。

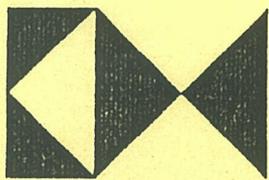
★若林温子理事の会社移転のお知らせ

(株)アトリエ・ワカバヤシ

〒604 京都市中京区烏丸通り御池上る

登録会館B1

PHONE(075)255-3654 FAX(075)223-6828



●1989年11月10日号 No.01
 ●発行 (社)京都デザイン協会 KDA-NEWS委員会
 ●事務局 京都市東山区祇園町北側 ABL3階 〒605
 TEL075(541)0239 FAX075(525)0294

KDA-NEWS

KDAシネマサロン

去る10月20日(金)午後6時より河原町三条上りのムツミ堂(メディック)8階にて、KDAサロン委員会(田積担当常務理事、大木担当理事、樽家委員長、山本副委員長、園部、堺、小川委員)主催によるKDAシネマサロンが開催された。当日の出席者は24名と少なかったが、充実した内容で出席者からは「素晴らしかった」と賞賛の声が盛んに出ていた。

この企画は樽家サロン委員長が30年前から温めていたもので、サロン委員会、ムツミ堂(協力社)、茨木さんという協力者が、KDAを媒介として一堂に揃い、このたび初めて実現した。

樽家サロン委員長は「事前にKDA会員より好きな映画、好きな俳優に関するアンケートを取り、そのデータを元に「邦画、洋画ベスト10」「好きな俳優ベスト5」「番外編」を入手可能な限りのビデオソフトからダイジェスト的に編集した。入選候補にあがった作品を全編見ることから始め、3部に分かれるダイジェスト版を1時間半のテープにまとめるのには膨大な時間を費やした。今日の出席者が少ないので残念。ベスト10入りの作品は今日出席していない会員のセレクションによるところが大で、私個人のセレクションからは大きくはずれている」と話してくれた。

上映が終わり、樽家氏の指名で参加者がスクリーンをバックにディレクターチェアに座り、映画との関わりや思いで話を語った。

KDAシネマサロン・アンケート結果

- 「ザ・ベスト10」洋画の部(第1位より)
『風と共に去りぬ』『第三の男』『慕情』



樽家委員長



ムツミ堂 森氏



★久谷：ソールバスが私の師匠



★鈴鹿：映画を勉強しにアメリカへ渡った

『真昼の決闘』『ダイハード』『サウンド・オブ・ミュージック』『ラストエンペラー』『インディジョーンズ』『カサブランカ』『ひまわり』

- 「ザ・ベスト10」邦画の部(第1位より)
『七人の侍』『用心棒』『寅さんシリーズ』『お葬式』『幸福の黄色いハンカチ』『二十四の瞳』『天国と地獄』『乱』『砂の器』『生きる』

- 好きな俳優「ザ・ベスト5」(第1位より)
[イングリッド・バーグマン][ダスティン・ホフマン][ゲーリー・クーパー][ステイブ・マククィーン][オードリ・ヘップバーン]

*アンケート協力は49名からでした

*黒澤明監督作品はビデオ化されていません



89. 11. 10号 No.02

KDA-NEWS



★藤田（ゲスト）：
『第三の男』に出てくる観覧車を見にウイーンまで行った。



★今西：東映で1年間悪役として働いた。



★本郷：ハッピーエンドが好き。



★藤田：ギャングモノばかり観ていた



★小川：フランス映画がなかったね。



★岡本：美人は薄命ですね・・・。



★鳴：黒澤監督が好き



★山本唯：映画は時代の鏡。



★中村：小さい頃母親と映画に行って自分は画面が見えなかったが母親が泣いていた



★太寿堂：時代が違うのかギャップを感じる



★園部：メロドラマ
は見ない、実践のみ。



★茨木：今回の企画
にお役に立てて嬉しい。
映画大好き青年
です。

欠席] 各氏により総合審査形式で入賞作品が
選ばれた。

グランプリ=佐野裕子(マイジーンズ)

特別賞=宝大理恵(ことわざ3D)

金賞=季炳勲(ADVANCED LINERE MOTOR
CAR)

銀賞=5名

銅賞=12名

●展覧会は11月9日(木)~12日(日)

日図デザイン博物館3F

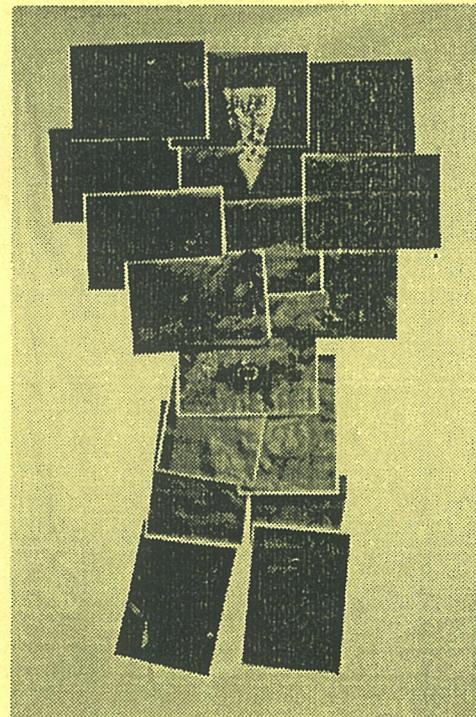
第28回京都デザインコンペ'89作品審査

去る10月26日(木)午前9時より、日図デザイン博物館3Fで第28回 京都デザインコンペ'89の応募作品一次審査がKDA理事によって行われた。(出席理事=柴田、今西、本郷、藤田、田積、中村、久谷、尾崎、山本、熊谷、大木、黒竹、奈良)

審査に先立ち、京都市の西口伝統産業課長、西脇友一総合審査委員長を交え、中村担当理事の進行で打合わせ会議を持った。久谷常務担当理事が作品応募状況について、本年度の応募点数は259点、昨年度は322点で63点減少した。全国から問い合わせなどの反応は多かったが、応募に結びつかなかったと報告。鯛天委員長が展覧会のパンフレットの表紙デザインを披露し、全員が了承した。ジャンル別の審査進行役を決めた後、全員で総合的に一次審査を行い入選作品を選んだ。午後からは西脇友一総合審査委員長(KDA特別会員・グラフィックデザイナー)、柴田献一(KDA理事長・インダストリアルデザイナー)、浅葉克己(アートディレクター)、喜多俊之(インダストリアルデザイナー)、コシノヒロコ(ファッションデザイナー)、日比野克彦(アーティスト)、[高松伸(建築家)は



二次審査員の前で挨拶する西口課長



グランプリ受賞作品



第3回理事会より

〔開催日時〕平成元年10月26日(木)

午後2時～3時30分

〔開催場所〕日図デザイン博物館

＜出席理事＞本郷大田子 今西慧 藤田頼伯
久谷政樹 尾崎要 田積司朗 黒竹節人
中村隆一 山本竜一 若林温子

＜委任理事＞柴田献一 南澤弘 宮川万樹夫
鈴鹿芳康 熊谷實 嶋高宏 阿部コウイチ
大木ミヤ子 恩地惇 奈良磐雄

＜欠席監事＞藤川延子 富家宏泰

平成元年度 第3回理事会は第28回京都デザインコンペ'89の審査会場・日図デザイン博物館で、KDA理事による第一次審査終了後引き続き開催された。柴田理事長が二次審査にも参加されるので、本郷副理事長が議長代行で議案が審議された。

■特別事業実行委員会の藤田委員長よりKDA特別セミナー「世界デザイン会議・キャバコンGRESS・イン・京都」の開催結果報告があった。

世界デザイン会議-ICSID'89NAGOYA運営事務局の要請により、去る9月14日(木) PM 5:30～8:30 祇園ABLビル3F大ホールにてトーク『上岡龍太郎の「毒談・デザイン考」』を会費3,000円で開催、関係各位のご協力により157名の参加者を迎え、盛況の内に当初計画を達成できた。詳しい内容は前号のKDAニュースに掲載済み。収支決算は収入556,648円、支出593,954円で37,306円のマイナス。特別賛助会員の宝酒造、シャープ各社から温かいご援助をいただき助かった。また、運営に関してはKDA新入会員の積極的な協力を得られたことが、今後のKDA運営に大きなプラスを期待できる。宝酒造に対しては理事長名で礼状を送らせていただく。

理事会はご苦勞を感謝すると共に、事業報告を了承した。

■KDAサロンについて田積担当常務理事よりの報告。

去る10月20日(金)午後6時より、河原町三条上るのムツミ堂(MEDIC 8F)にてKDAシネマ・サロンを開催した。会費は4,000円で出席者は24名であった。会員の皆さんにアンケートした結果を元に、サロン委員会の樽家、茨木両委員が粉骨砕身、不眠不休で準備に当たり、入手可能な限りのビデオをダイジェスト版として編集し、上映した。

『邦画、洋画「ザ・ベスト10」』『好きな俳優「ザ・ベスト5」』『番外編』と、凝りに凝った編集で実に素晴らしい内容であった。この企画に関してはムツミ堂の森社長以下の全面的な協力があればこそ可能になったもので、深く感謝したい。残念だったのはKDA会員の参加が少く淋しかった。ムツミ堂からは終わった後すぐに礼状までいただいている。

理事会では、ムツミ堂の協力、サロン委員の努力に感謝すると共に、もう一度上映する機会を持ちたい、もっと長時間ブツ続けで見たいといった意見もあり、アンコール上映について検討していくことになった。

以降のサロン開催予定は

- 12月22日(金) シャンソンを聴きながらの忘年会。
- 1月19日(金) 恒例の新年会。
- 3月(日は未定) 長浜の盆梅を鑑賞しながら鴨なべをつつきましよう。

詳細が決まり次第、会員に連絡することです承。

■第28回京都デザインコンペ'89について久谷担当常務理事より報告。

第28回 京都デザインコンペ'89の応募点数は259点。前回は322点で63点のマイナスであり過去最低となった。現在第二次審査が別室で進行中である。

藤田理事より、ポートフォリオ誌の編集長



から、平成2年の新年号に入賞作品を2ページで紹介したいので、ポジフィルムと審査総合評の原稿が欲しいとの連絡があり、中村担当理事と相談の上、依頼に応じられるよう、写真撮影は会員の平松氏にお願いすることになったとの追加報告があった。

理事会としては、今回も久谷担当常務理事、中村担当理事、鯛天委員長が中心になり企画から募集、審査まで力を注いできていただいた事に感謝すると共に、終了後のパブリシティ対策までもよろしくやっていただくようお願いした。さらに応募点数だけでは計れないとしながらも、応募点数の減少を率直に受け止め、今後のありかたを全面的に見直す必要があると判断し、今回が終了次第、早急に検討に入ることにした。

なお、第28回京都デザインコンペ'89の入選、入賞作品の展覧会を、来る11月9日(木)から12日(日)まで日図デザイン博物館で開催するので、例年通りKDAの会員も交替で会場当番に当たって頂く。当番の割当は別紙にて会員の皆さんにお知らせすることにした。

■第13回ファッション市民大学について鈴鹿担当理事より報告(メモを本郷副理事長が紹介)

去る10月18日(水)、京都市・京都商工会議所が主催で、KDAが企画協力しているファッション市民大学の第2回打合わせ会議を持った。

テーマは2001年の京都にふさわしいものごとを検討中。パネラーには、京都生まれの京都育ちで、現在日本全国、世界で活躍しておられる方を検討中。内容に関しても、今まで参加して頂いた方にアンケートをお願いし、それを参考に進めて行きたいと考えている。現在アンケート作成中。開催は平成2年2月22日を予定し検討中。

理事会としては、引き続き担当理事を中心に企画を煮詰めて行っていただくよう要請。

■第10回京都デザイン会議について本郷副理事長、久谷担当常務理事より報告。

来る10月27日(金)、第10回京都デザイン会議に関する第1回企画委員会が京デ協11団体代表企画委員の参加で開催される。KDAの企画委員として久谷担当常務理事に参加して頂くことになっている。

理事会としては、事前にKDA理事の意見を聞いた。

第10回という節目でもあるので多くの参加を望める内容にしたい。旧来の枠を広げる方向で考えたいので、会場についても自由に発想したい。今までの参加者は京デ協関連団体関係が主であったが、京都にはそれ以外にもデザイン、生産関連の団体が沢山あるので、出来るだけ多くの団体、ひいては多くの市民がリラックスして参加できるような『祭』色の濃いイベントとして考えてはどうか。京都の特色といってもいい宗教団体の参加、協力が得られる内容も考慮されてもいいのでは。会場に関して、京デ協関連団体それぞれが推薦する場所を、分散形式で設定するのも特色が出ておもしろい。などの意見が出され、久谷常務理事がそれらをふまえて委員会に臨むことになった。

■一般報告

各種デザイン団体より様々なデザイン関連情報の印刷物が届いている。会員諸氏もKDA事務局で閲覧利用していただきたい。

■その他

●大阪デザイン団体連合・デザイナーレ'89実行委員会より、11月17日(金)から26日(日)まで大阪南港・インテックス大阪1号館で開催されるデザイナーレ'89への参加協力要請の書類が届いた。

理事会としては出来るだけの協力をすることを了承し、チケット(10,000円)はKDA事務局で預かり、会員の皆さんに参加を呼び掛け、事務局に申し出て頂くことにした。

●福祉機器デザインコンペ '89 KYOTO
 実行委員会より、福祉機器デザインコンペ
 '89 KYOTO 入賞・入選作品発表会の御
 案内をいただいた。(KDA-NEWS発行
 時点では終了しています)

このコンペの審査員にはKDAより柴田理
 事長、恩地理事(福祉機器部門)、田積、久
 谷常務理事(グラフィック部門)が参加した。

★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆

△鈴鹿理事より『鈴鹿芳康写真展』の案内状
 が届いた。

ギャラリー サインランゲージ
 (京都市中京区富小路三条西入る
 サクラビル2F)
 11月3日(金)～14日(火)
 11:00～20:00(水・休館)



△国際テキスタイルコンペティション
 (ITF)'89 京都の入賞・入選作品の
 展覧会が開催される。

京都市美術館
 11月7日(火)～19日(日) 9:00～5:00
 TICKET: 前売 600円 当日 800円

△ワールド・ファッション・フェア'89
 京都・大阪・神戸が、3つの都市を舞台に
 4月から11月にかけて繰り広げられている
 のはすでにご承知のとうりだが、国際行事
 として11月18日(土) 10:00～19:30
 国立京都国際会館 大会議場にて
 ワールド・ファッション・シンポジウム
 が開催される。

第1部 基調プレゼンテーション

西武セゾングループ代表 堤清二氏

第2部 パネルディスカッション

ロメオ・ジリ、アシャ・サラバイ、レー
 ジェンス・ラム、シビラ・ソロンド、
 三宅一生の各氏
 総合司会

小池一子、ピーター・バラカン氏

第3部 パーティ

△会員の太寿堂さんが'89京都国際音楽祭
 FIESTA FLAMENCA 山本秀実フラメンコリサ
 イタルに出演する。

京都府民ホール・アルティ

(地下鉄今出川駅より南へ徒歩3分)
 11月26日(日) PM3:00 PM7:00 開演
 TICKET: 前売4000円・当日4500円



△嶋常務理事が 第3回企画展 ニューヨー
 ク ケンドールギャラリー展 に賛助出品
 した。

ギャラリー汲仙堂
 (神戸市垂水区神田町2-35石井ビル2F)
 10月12日(木)～25日(水) 11:00～6:00